

みの～れは「違う自分」を探す場所



光と風のステージCUE
プロジェクトメンバー
みやした かずえ
宮下一恵さん

「人が喜ぶリアクションを見るのが好き」と話す宮下さん

みの～れと共に生活するスタイル
Minole Life
のすすめ
No.166

新緑が眩しい季節がやってきました。この季節はちよつと外に出て深呼吸をするだけで全身に爽やかな空気がいき渡るような気持ちになります。それから・・この季節限定、水を張った水田に見られる水鏡に映った雲や木々の美しいこと。しみじみといい季節になったなあと感じるこの頃です。今回は、光と風のステージCUEプロジェクトチームのメンバーで小美玉市羽鳥地区にお住まいの宮下一恵さん取材します。

宮下さんに光と風のステージCUEプロジェクトのメンバー（以下、光と風）になったきっかけを聞いてみました。「7、8年前になりましたが、当時中学三年生の娘が演劇部を引退して時間を持って余していました。そんなとき、みの～れでテレビに出ている俳優さんの演劇ワークショップがあり、娘が参加することになりました。娘の送迎の際、光と風のメンバー募集のチラシが目にとまり、子どもたちの手も離れてきたので、このような活動に参加してみるのもいいかなと思いつきました」と話してくれました。

「自分から『どのアーティストさんに来てもらいたい』と発言するタイプではありませんが、皆さんと一緒に活動するのはとても楽しいです。お客様に喜んで帰ってもらえるのが嬉しくてやっていますよつなものです。お手頃価格で様々なコンサートを見られるのが他にはない、み

の～れの特長だと思っています」と笑顔で話してくれました。

「以前は人見知りでしたが、みの～れに関わるようになって力を抜いてリラックスしながら人と接することができるようになりました。サービスマンをやっているの、みの～れで培った何かプラスになっていっていると思っています」と話してくれました。

宮下さんに趣味を聞いてみました。「人にマッサージュをしてあげるのが好きですね。人が喜ぶリアクションが見たくてやっています。マッサージュ好きが高じて、現在のフェイシャルケアの仕事に繋がっています。もう一つの趣味は家族とするオンラインゲームです。遠方に住む息子やお嫁さん、孫たちとゲームの世界で野山を駆けまわって遊んでいます。このゲームはプレイヤーの装備が重要ですが、子どもたちがプレゼントしてくれるおかげで、それほどゲームが得意で

ない私でも極上の装備をつけて遊ぶことができています」と楽しそうに話してくれました。

最後に今後の光と風でやってみたいことを聞いてみました。「光と風は、いろいろな人をお願いします。嘶家さんと呼んだ時も若い人からお年寄りまで来ていただいて、たくさん笑ってもらって、すごく嬉しかったです。今はコロナ対策として椅子やドアノブを消毒したり、衛生管理や換気を徹底してお客様をお迎えしています。コロナ禍が落ち着いたら、以前のように100名くらいのお客様が入った公演をやりたいですね」と宮下さん。早く日常を取り戻せるといいですね。

光と風のステージCUEプロジェクトは、毎回、素晴らしいアーティストをお呼びして素敵な時間をプレゼントしてくれます。皆さん、楽しみに待っていてください。
(藤田佐知子)